13～15日 あす、お大師さん開幕

延岡 にぎわい「山」と「まち」で多彩なイベント

九州三大春祭りの一つとされる延岡今山大師祭はあす開幕。今年のテーマは「まち中むら中お接待！ 地区も職場もおもてなし！ 心をつなぐお大師さん！」。日本一弘法大師銅像のある今山大師の「山」と延岡市内商店街の「まち」が連動してさまざまなイベントを予定している。15日まで。

あす午後1時、今山大師本堂での大法要で3日間の祭りがスタートする。同6時からは、境内周辺に設置された約1千本の竹灯籠に明かりがともされ、幻想的な光景で参拝者をもてなす。

今山大師ではさまざまな山内行事を予定。3日間ともお楽しみ福引大会、14日に奉納書道展表彰式。14、15日には奉祝・大開運餅まき、舞踊芸能大会、演芸大会なども随時催される。

「まち」では、14、15日に市道今山神社参道線で延岡観光協会主催の「のぼりさん物産展」を開催。延岡市と近郊からの特産物、交流都市からの特色ある品々が出展される。

各商店街では接待所を設けて参拝者をお接待。お大師さん名物の見立細工の展示も行って祭りを盛り上げる。

最終15日午後1時からは祭りの一大イベント、39団体約1800人が参加する市中パレードが繰り広げられる。パレードの終点となる旭町のイオン延岡店には東京ディズニーランドの「ダッフィーバス」が来場する。時間は午前11時～午後5時。

駐車場は、同市古川町の河川敷や岡富・旭小の運動場（14、15日のみ）などが利用できる。14、15日は同河川敷から会場周辺までのシャトルバス、今山の東側登り口から山の中段までのシャトルタクシーが運行される。

14、15日は曇り一時雨の予報

宮崎地方気象台によると、延岡大師祭期間中の天気は、13日は晴れるが、土曜日から週明けにかけて崩れる。14、15日は低気圧と前線の影響を受けて曇り一時雨となる見込み。最高気温は13日が21度、14、15日は22度と予想している。

エンクロス あす、全館オープン にぎわい創出に期待

延岡駅前

延岡市の延岡駅前複合施設エンクロスが、あす全館オープンする。午前8時30分からテープカットを行い、同9時から入場。テナントの蔦屋書店とスターバックスコーヒーからなるブック&カフェも開店する。市民活動は2日目の「革の名刺入れ作り」と「FMのべおか公開収録」から始まり、今月だけで15プログラムが予定されている。

同施設は、延岡市の玄関口にふさわしい"顔"とにぎわいの創出、市民活動の発表ができて参加できる場、交通機関の待ち合い、読書、勉強、仕事などさまざまな目的で過ごせる場所として、また、そのにぎわいが中心商店街などに波及することを目指して、市が約15億円をかけて整備した。

地上2階建て、鉄筋コンクリート造り、一部鉄骨造りで延べ床面積1681平方㍍。ブック&カフェを挟んで北側が待合スペース、南側1階がキッズスペース。座席は1、2階合わせて240席、電源席や無料Wi-

あすの全館オープンを待つエンクロス（昨夜）

2018. 4. 12

延岡が生んだ プロフェッショナルの仕事

延岡駅前複合施設エンクロスでは、トイレの設計・デザイン、壁を飾る絵画、ロゴ制作に同市出身の建築家やデザイナーたちが起用された。

encross

心和む 居心地いいトイレ

トイレ設計者 小林純子さん
グラフィックデザイナー 太田徹也さん

トイレを設計したのは、国内のトイレ設計の第一人者で、5億円をかけた公衆トイレ「チャームステーション」などを手掛けたことで知られる小林純子さん（東京都在住）＝設計事務所ゴンドラ＝。

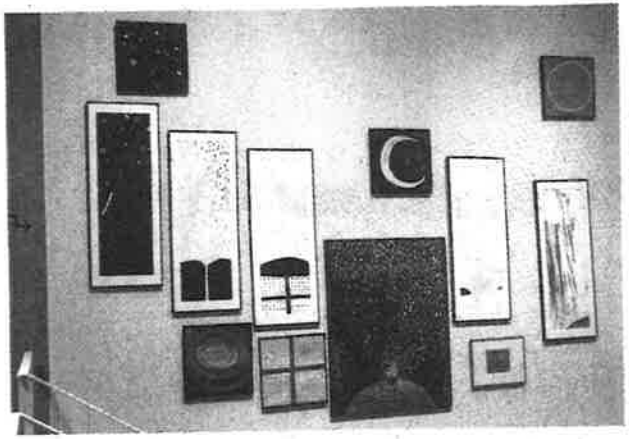
延岡高校15回生。日本女子大学家政学部住居学科卒。著書に「変わる学校のトイレ」「心に響く空間～深呼吸するトイレ」などがある。

エンクロスのトイレの壁には、城山のヤブツバキのイラストと若山牧水の短歌が書かれており、心和む空間になっている。ヤブツバキのイラストは、延岡高の3年先輩でグラフィックデザイナーの太田徹也さん（神奈川県横浜市在住）の作品。

小林さんは本紙に次のコメントを寄せた。

「延岡は山、川、海のすべてに近く、個性は強くないけれど、穏やかで静かにそっと支えてくれ、多少受け身ではあるが粘り強い性格を育んでくれました。東京で公共トイレを中心に、北海道から九州まで設計活動を行いましたが、この施設のトイレの設計が決まった時は、やっと役に立てると特別な思いがあり、うれしかったです」

「エンクロスは、今の延岡の市民が欲しかった、身近でかつ都会的な、親しみやすくおしゃれな施設です。施設内トイレは誰にも親切でまた使ってみたくなる居心地のよいトイレとしました。公衆トイレの方は、明るく安全さと清潔さを確保するため窓を大きく取り、公衆トイレは誰にも親切にしました。」



ロゴに多様さ 楽しさ込めて

デザイナー 小野信介さん

エンクロスのロゴは、延岡市稲葉崎町のデザイナー小野信介さん（オノコボデザイン）が制作した。建物の形をモチーフにしながら「自由」の文字を表現する。「多様な人が集まり、活動できる場や子どもたちが…」というイメージが込められている。

「壁面にはツバキと若山牧水のシートを張ってきた人、みんなの心もそうと考えました。」

太田さんは、ふるさとの延岡市内の欄干の掛けている後に残るものえるのは…と話した。

交流の芽

待合スペースの1階から2階に上がる階段の壁に掛けられている絵画は、延岡市出身で「木城えほんの郷」の村長を務める版画家黒木郁朝（いくとも）さん＝木城町在住＝のアクリル画と木版画の組み作品。タイトルは「芽」だろう。

『駅』行き交う人しい山、海をもつようなの心もっとから誕願って

版画家